

復 命 書

No. 10月-35

17年 10月 24日

静政会 代表

鈴木 和彦 様

議員名 望月厚司 安竹信男 栗田知明 橋本勝六

兼高正男 中山道晴 三浦雅司 浅場武

佐藤成子 遠藤広樹 尾崎剛司

下記のとおり、政務調査費による視察を実施したので、ご報告します。

記

1 日 程

17年 10月 20日(木) ～ 10月 21日(金)

2 視 察 先(都市名、視察施設等を具体的に)

大井川上流(静岡市・川根本町)

3 視 察 内 容(調査事項、調査結果を具体的に)

静岡市…県民の森、自然の家、井川支所、畑一ダム、入谷発電所

絵本の里、井川ダム、田代ダム等

川根本町…長島ダム、千頭等

4 そ の 他(所感、感想等)

別紙参照

研 修 及 び 講 座 参 加 報 告 書

開催月日	05年10月20日(木) ～ 05年10月21日(金)
会 場	井川地区
講 座 名	井川地区の観光行政と市道整備状況及びダム発電視察
参 加 者	静政会議員 11名
報 告 者	安竹信男

<視察の目的と感想>

秋晴れの下、2日間をかけて井川地区の観光行政に関する展望と市道の整備状況及び井川ダム発電システムの理解など、静岡市の最北端の地に関する現状や課題についての意識を共有することを目的に視察を行いました。8時に静岡市役所を出発した一行はバスに揺られながら「県民の森」「井川少年自然の家」「リバウエルスキー場」などの施設を見学しながら、畑一ダムへ到着。大井川水系の水力発電と利水の現状についての説明を受けました。ダムを出発し、林道東俣線に入ると、舗装路が一転して悪路となり、ガードレールのない林道は少しでもハンドル操作を誤れば、谷底へ転落するような道で、毎年多くの登山客を招くには大変危険を伴う道路であることを体験しました。宿泊先である二軒小屋ロッジでは、ゆっくり流れる時間をしみながら一夜を過ごし、翌日、井川支所で井川地区の概要を聞き、長島ダム、千頭を通過して市役所へ帰ってきました。大変中身の濃い視察で、あらためて静岡市の広大な大自然を実感し、山間地域の諸問題と課題についての認識を再確認することが出来ました。



中山間地域にぎわい創出事業研究会【井川編】

【1】 井川地域及び国立公園・南アルプス周辺視察（10/20・21）井川地域内の施設見学をした所感をお書きください。

① 俵沢支所（工事監理室長より説明）

- ・ 県から市に所管が移行され、市民の要望の反映がしやすい環境となった。
(望月厚司)

② 大日高原地域より南アルプス・井川地区展望

- ・ 展望台が素晴らしい。この景色をぜひ観光に生かすべきと思う。峠付近の農地の荒廃が大変気になる。
(三浦雅司)
- ・ 天候もよく見晴らしも素晴らしかった。
(橋本勝六)

③ 県民の森（管理室長から説明）

- ・ 現代人にとって大変良い施設と思う。なんとか道路整備を図って訪れ易くしたいと考える。
(三浦雅司)
- ・ リバウエルススキー場・少年自然の家とか他の施設を含めて総合的にPRする必要はないか
(中山道晴)

④ リバウエルススキー場（観光課長から説明）

- ・ 個人的にはもう少し広げたいと思うが、交通の便を考えると、山梨、長野を選んでしまうのではないだろうか。
(三浦雅司)
- ・ 規模、アクセス道路、施設として中途半端な感じである。活かすのであれば道路整備か
(中山道晴)
- ・ 規模が小さく採算面から問題を感じる。
(橋本勝六)
- ・ 市内からスキー場までの時間がかかる。スキー場としての魅力が乏しい。
(望月厚司)

⑤ 少年自然の家（職員から説明）

- ・ 賤機南小の生徒が利用しており、自分の宿泊訓練を思い出した。利用率も高いようであるし、今後も本市の自然を感じられる施設として期待。(尾崎剛司)
- ・ 自然に接する機会の少ない今の子供たちに良い施設と思う。
(三浦雅司)
- ・ もっとPRして来場者を増やしたほうが良い。小中生にとっては必要な教育体験メニューとなっていると思う。
(中山道晴)
- ・ 子供達の自然の中での体験が、より多くの学校に広がると良い。(望月厚司)

⑥ 井川支所（井川の現状説明）

- ・ 建物が新しく環境は良いと感じた。
(尾崎剛司)
- ・ 全体的に設備として整いつつあると思う。ぜひ有効に活用してもらいたい。
(三浦雅司)
- ・ 人口規模に対し職員の配置には恵まれている。地元住民がいかに「町おこし」を進めるか！
(望月厚司)

⑦ オートキャンプ場（観光課長から説明）

- ・ 観光施設の広報をもっとする必要がある。
(望月厚司)

⑧ 白樺荘温泉（観光課 昼食、入湯体験）

- ・ 多くの人からいい湯だとの評判を聞くが、少し遠いのが難点か。
少し離れた上流への移設だそうだが、なぜ上流か？
(三浦雅司)
- ・ 良い温泉である。移転・移設の話があるようだが予定地までのパイプ敷設、建物建設等二億円とのこと。もっとアクセスの良い場所など検討が必要では。
(中山道晴)
- ・ 施設の老朽化が進んでいる。交通の利便性が高まれば・・・
(望月厚司)

⑨ 畑薙ダム発電所・赤石発電所（中電から説明）

- ・ 観光としての利用はできないか。
(尾崎剛司)
- ・ ダムの仕組み、水のありがたさ、強く感じた。赤石発電所は、地下発電。大きな投資をしてまで電源の安定供給のために苦労していることが分かった。
(望月厚司)

⑩ 田代ダム・東京電力水力発電（視察）

- ・ 人工の滝ではあるが、素晴らしい景観である。
(中山道晴)
- ・ 南アルプスの上流部でも大量の小流があるのに驚いた。村半分が東電、早川水系に流れていく様は大井川だと思った。
(橋本勝六)
- ・ 「今話題のダム」静岡市から権利主張できないか。
(望月厚司)

⑪ 東海パルプ社有林・榎島・二軒小屋ロッジ（東海フォレストから説明）

- ・ 南アルプスは素晴らしい所で、道路等の設備が良くなればもっと人を呼べるのではないか。
(三浦雅司)
- ・ 山を楽しむ人達には大変貴重な施設であり、採算は苦しいと思うが残したい施設である。アクセス道路はひどい、登山者にとって車の通行は良いとは思っていない。世界遺産からみでの開発指導が必要か。
(中山道晴)

- ・二軒小屋は大変遠かった。道路の保全是極めて厳しい状況を知った。市道として整備しているとのことであるが、東海パルプの社有林の中の整備、自由に利用出来ない道路であり矛盾を感じる。
(橋本勝六)
- ・南アルプスを本市の資産としてかわりを大きくしていく必要がある。
(望月厚司)

⑫ 絵本の里（参観立ち寄り）

- ・中心部から出向くというよりも、井川の人の交流の場として活用されている様子。観光資源としては、インパクトにかけると思うが。
(尾崎剛司)
- ・定期的なイベントも下火になったと伺いました。あれだけのロケーションなので、何とか本と結ぶ付けたいもの。
(佐藤成子)
- ・⑫⑬共に井川の観光にとって大切なものだと思う。もっとPRが必要か。
(三浦雅司)
- ・井川観光の目玉の一つであり、他の集客施設を整備して TOTAL でPRすべきである。
(中山道晴)
- ・予算をかけた割りに活用が・・・ どうされているか？
(望月厚司)

⑬ 渡船事業（乗船）

- ・観光ベースで考えられる素材だと思います。
(佐藤成子)
- ・観光の一つとして事業化を検討すべきである。
(中山道晴)
- ・井川本村の乗船場へのアクセス道路が狭い。駐車場を含めた別の場が適当と思います。
(橋本勝六)

⑭ 長島ダム（管理室管理者説明）

- ・パブルの遺産でしょうか。。。？宣伝が足りません。家族連れで、思いっきり自然を満喫できる。それもお金をかけずに。絶好の場ですね。あそこに、9人の管理者がいるそうですが、遠隔地操作で人件費節約できるんじゃない？さすが、国！！とあって良いのかな？
(佐藤成子)
- ・国の事業ということで素晴らしい施設である。そして川根の道路を含めての開発ということで、観光地として日々良くなっていると思った。計画的に整備の必要性を感じた。
(中山道晴)

⑮ 杉尾、清沢（加工所と物販施設について）

- ・類似の施設があちこちにありますが、清沢の蓬饅頭のネームバリューのある商品もあるので、より一層の差別化が必要。猪井などのアイデアは良いですね。
(佐藤成子)

- ・大変な努力に頭が下がります。横のつながりはどうだろうか。
(三浦雅司)
- ・個々はそれぞれ頑張っていると感じた。アクセス道路（ネック）を整備する必要ありと感じた。
(中山道晴)

⑯ 国道 362 号線（道建説明）

- ・実際に場所が分かりとてもよく理解できた。広げるならできるだけ早く！
20 年もかかっては時代が変わる。
(佐藤成子)
- ・トンネルが多いのでお金がかかると思われる。
(三浦雅司)
- ・362 号は重要な道路であることを再確認した。川根方面とのアクセスを整備した上でもっとPRすべきである。
(中山道晴)

【2】アクセス道路をマイクロバスで走りましたが所感をお聞かせ下さい。

① 県道・南アルプス公園線改良工事（笹張峠～畑薙ダム）

- ・道が悪くて、マイクロバスでは大変に疲れる。人を呼ぶには道路改良は重要。
(三浦雅司)

② 県道・三峰落合線改良工事(玉機橋～笹張峠)

③ 林道・東俣線改良工事（畑薙ダム～二間小屋ロッジ）

- ・南アルプスを観光で売るには、道が悪すぎる。
(三浦雅司)
- ・①②共に、山の崩落は自然の流れ、本当に必要な基幹道路については拡張等の徹底した整備が必要と思う。
(中山道晴)
- ・全面的に東海パルプ社有林の中で、市道の改良工事及び一般車両が入れない中での市道管理は問題があると思います。
(橋本勝六)

④ 市道・閑蔵線改良工事（井川～閑蔵）

- ・③に同じ（道が悪すぎる）
(三浦雅司)
- ・拡幅は難しい。
(中山道晴)
- ・一方は急な山、一方は深谷を条件とする改良工事は大変。トンネルなどで対応するほうがよいではないか。
(橋本勝六)

⑤ 川根本町を走るトンネル橋梁の多い二車線道路について

- ・川根本町との道路の違いには驚いたしショックだった。なぜ井川に行こうと思えないか？若い女の子の意見は「怖い」だった。

大型車とのすれ違いとか、運転に自信がないといけない。その意味で、井川が観光地として発展するには道路整備の必要性はよく理解できた。ただ、道路整備→過疎化ストップと必ずしもならない気もするが・・・。

もちろん、中心部との交流が増え、少しばかりの増加はあると思うが。

井川とか梅ヶ島とか、山間地には山間地で成り立つ生活、魅力があると思うのですが、これは今後の課題として考えます。

井川に引っ越して、農業やって年収 1000 万になったとか、そういうサクセスストーリーがあれば、面白いですね。

(尾崎剛司)

- ・最低この後の道は必要と思う。(二軒 J・P まで) (三浦雅司)
- ・素晴らしい (中山道晴)

【3】静岡型政令都市を創造することについて、山間地域の活性化が図られてきたが井川地域の過疎化は止まらない。アクセル道路の整備促進について。

- ・雇用場がないと人は集まらないと思う。観光でどの程度雇用の創出があるか、期待したい。 (三浦雅司)
- ・切り捨てるのか活かすのか方針を決めた上で、全体はできないので長期計画を立案しどこに重点を絞って投資するか決めてほしい。投資対効果を十分検討してほしい。 (中山道晴)
- ・井川湖線と 362 号線の両道路を整備していくには膨大な費用と時間がかかる。(費用対効果で優先度を決めたら)
井川湖線をトンネル化すると、大日峠、県民の森、スキー場などの利用が低下するのではないか。 (橋本勝六)
- ・道路を整備することも大切だが、地元の町おこしが行政や議会を動かす活動、行動も大事だと思う。 (望月厚司)